

市議会ってどんなところ？

私たちも、ついこの間までまったく想像がつかなかった空間。「市議会って、そんなことをしているんだ」と、まずは市政を身近に感じていただき、明石のことを一緒に考えていくきっかけになれば嬉しいです。メンバーの日々は、SNSでも発信中。ぜひ覗いてみてください。

5月から6月まで

5月1日
証書授与式
得票順で一人ひとりに証書が授与されます。



証書授与式

5月1日～29日
新議員説明会
市の主要政策に関して、担当課からレクチャーがあります。説明会がない日は、自主的に勉強。



近畿市民派議員・学習会

5月23日
近畿市民派議員・学習会に参加
テーマは「市民自治」。講師は福嶋・元我孫子市長。

5月30日～6月4日
一般質問について検討
各人が取り上げたいテーマを調査・研究し、質問項目を検討。



市民の会の控え室

6月5日～8日
担当課との答弁調整
良い答弁を引き出すため、質問の意図などを担当課とすり合わせ。



市役所食堂



初めての本会議を終えて

6月9日～30日
本会議＆委員会
議案の議決と一般質問。専門的なテーマは委員会で審議されます。

5月のとある一日

- 9:00 市役所に登庁して会派控室へ本会議の一般質問に向けた担当課との打ち合わせを設定
- 10:00 担当課との打ち合わせ
- 11:00 打ち合わせの議事録作成
- 11:30 早めの昼食@市役所食堂
- 12:00 会派控室でメンバーと情報共有
- 12:30 一般質問に向けた他市事例などの勉強
- 14:00 市民の方からの問い合わせを受けて現地視察
- 16:00 会派控室に戻って資料作成
- 17:40 退庁→自宅作業へ

所属委員会について

本会議ですべてのテーマを議論するには、時間の限りも。明石市では、4つの委員会に分かれて集中的に議論を行います。

総務常任委員会(中川)

明石市のまちづくり計画や税金、火事、災害対策など、まちづくりに関わる総合的なテーマについて話し合います。今回は、新市庁舎整備、大久保駅周辺の利活用、西明石地区活性化、火災予防条例の一部改正などがテーマになりました。

生活文化常任委員会(山中)

ゴミの処理方法や産業、農業、文化、芸術振興について話し合います。今回は、市民全員・事業者サポート券、あかしジェンダー平等推進計画、明石市国民健康保健条例の一部改正、明石市地球温暖化対策実行計画などがテーマになりました。

文教厚生常任委員会(黒田・金尾)

学校や社会福祉、健康について話し合います。今回は、高校生世代への児童手当支給事業の実施、保育施設の見直し、第6次障害者計画及び障害福祉計画(第7期)、新型コロナウイルス感染症における取組などがテーマになりました。

建設企業常任委員会(山下 * 副委員長)

公園や海岸、道路や交通について話し合います。今回は、明石川河川水からの水源転換事業の進捗、西明石駅南畑踏切、17号池魚住みんな公園の利用規定、明石市緑の基本計画、明石市自転車活用推進計画の策定などがテーマになりました。

●あとかき●

5月1日。市民の会5名の議員生活がスタートしました。初めての6月会議。聞くところによると、1年生議員は本会議で質問しないのが通例というところもあるようです。しかし、私たちは「全員が質問すること」を選びました。なぜなら、市民のために1歩でも2歩でも市政を前へ進めたいから。「市民から託されたものはなにか」「こんな時に市民はどうしてほしいのか」が私たちの判断基準。これからも市民のための「政治」を続けます。

市民の会

〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1 丁目 5 番 1 号 明石市議会「市民の会」控室
Mail shiminakashi@gmail.com

明石市議会

市民の会 だより

令和5年
7月号

発行 明石市議会 市民の会 〒673-8686 兵庫県明石市中崎 1 丁目 5 番 1 号 明石市議会「市民の会」控室
Mail shiminakashi@gmail.com ※この市政だよりは、明石市議会「市民の会」政務活動費によって発行されています

はじめまして、明石市議会の新会派「市民の会」です

私たちは、いつだって「市民目線」。明石市で行われていることを「それって、本当に市民のため？」と常に考えながら、「やさしい明石」をこれからも続けていきます。メンバーは、泉・前市長が辞任するにあたって行われた公募にて、100名を超える自薦・他薦の中から選ばれた5名。4月の明石市議会議員選挙では全員が当選し、有効得票総数の1/3を得ることができました。6月の本会議が、初仕事。早速「市民目線」で議論を行いました。これからも定期的に市政報告をお届けしていきます。



中川 夏望
なかがわ なつみ
総務常任委員会所属



山中 裕司
やまなか ゆうじ
生活文化常任委員会所属



黒田 智子
くろだ ともこ
文教厚生常任委員会所属



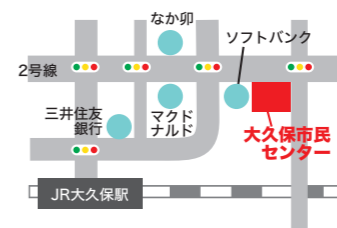
金尾 良信
かなお よしのぶ
文教厚生常任委員会所属



山下 祥
やました しょうりゅう
建設企業常任委員会所属
(副委員長)

市政報告会のお知らせ

第1回
7月22日(土) 10時～12時
大久保市民センター 3階 大会議室
(明石市大久保町大久保町612-1)

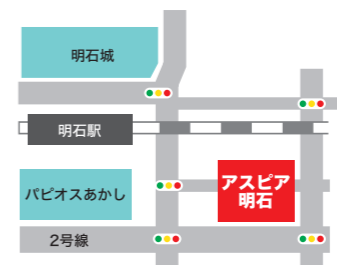


「市民の会」は、市政のこと、議会のことを市民の皆さんにわかりやすくお伝えしていきます。子育てやお仕事忙しい方のために、オンライン配信やアーカイブも配信。

ご希望される方は、QRコードを読みとり開催2日前までに登録ください。オンライン配信のご案内をお送りします。



第2回
7月23日(日) 19時～21時
ウィズあかし 8階 802
(JR明石駅を南に出て東側に徒歩3分
アスピア北館8階)



6月本会議における「一般質問」(抜粋)

市議会は、いわば市政の「チェック機関」。市が取り組んでいる多様なテーマについて「質問」をする形で、市民のみなさんの声を市政に反映していくことができます。質問するテーマは、議員によりけり。今まで議会で質問されてこなかった新しいテーマにも注目し、『市民目線』の市政に向けた歩みが始まりました。



議会トピック

市民全員サポート券は2,000円に減額へ。利用期間は10～12月。

丸谷市長の公約のひとつ「市民全員サポート券」の配布。市の原案は、一人あたり3,000円でしたが、他党派から2,000円へ減額する修正案が提出され、賛成多数で可決されました。市民の会は、3,000円の原案を支持。主な論点は、「基金を使用するかどうか」でした。本事業は、物価高騰対策として国からの交付金が約8億円。3,000円案の場合、約2.1億円の市の負担が発生。私たちは「財政の影響は軽微。今こそ基金を使うべき」「子育て世代はじめ市民は物価高騰に直面」「事務費同一ならより経済効果の高い施策を」などを主張しました。

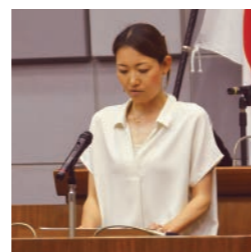
中川 夏望

幹事長として、丸谷市長の所信表明を受けて『丸谷市政の目指すまちづくりについて』を伺い、加えて3項目を質問しました。具体的には、選挙公約でも記載した『財政』や『女性の活躍推進』、そして市民の方からのお困りの声が多かった『医療的ケア児』について。財政白書は作成される方向に進みました。

●市民参画による財政白書の作成について

(要旨) 市民参画による財政白書の作成を検討してはどうか。また、今後の財政状況を予測するためにも、将来の見積もりもあわせて見える化してはどうか。

(答弁要旨) 『みんなで作る財政白書』の市民参画方法やスケジュール、内容について具体的に検討していく。今後の財政状況の内容についても検討する。



●女性の活躍推進について

(要旨) 女性の活躍の場として、企業に対する女性活躍推進の取組や、市役所における女性管理職比率を上げるための取組について問う。

(答弁要旨) 中小企業の就業規則の作成に要する費用の一部負担を7月より開始する。市役所では管理職の試験制度の廃止等の取組を行っている。今後も重点課題として取り組む。



明石市主催
女性リーダー育成セミナーにて

●医療的ケア児への対応について

(要旨) 医療的ケア児やその家族への支援体制の課題と、それに対する取組について問う。また、来年度の法律改正に伴い、どのような対応を行っているのか。

(答弁要旨) 組織横断的な連携や相談体制に課題があり、情報共有と連携、相談窓口の設置に取り組む。法律改正では支援センターを中心とし、更なる支援の質の向上を図る。



児童発達支援センターのパンフレット

山中 裕司

高齢者支援やこども食堂でのボランティア活動など、さまざまな市民活動を行うなかで、肌身で感じてきた3つのテーマ「明石の高齢化支援の充実について」、「地域支え合いの家設置事業の拡充について」、「大久保北部の里山の自然環境を明石の宝として次世代につないでいくことについて」を質問しました。

●明石の高齢者支援の充実について

(要旨) 一人暮らし高齢者の見守り支援の現状と課題、在宅医療と在宅介護の支援体制、高齢者の就労や社会貢献活動の機会の創出について見解を問う。

(答弁要旨) 社会福祉協議会や地域組織などと連携し、高齢者が安心して暮らせる地域づくりに取り組んでいく。また在宅医療に関するハンドブックの作成も検討している。



地域支えあいの家(西明石)

●地域支え合いの家の現状について

(要旨) 地域支え合いの家運営事業についての評価、検証、進捗状況について。また有償ボランティアも含めた事業展開などの方針について見解を問う。

(答弁要旨) 要支援者の早期発見にも貢献していると評価をいただいております。市としても開設したいと考えている。また人件費なども検討していく必要があると認識している。

●大久保北部の里山の自然環境について

(要旨) 今年度の整備状況と利用方法について。また子ども達の環境教育の野外体験の場としての活用は。里山を保護、保全していくための条例制定はどうか。

(答弁要旨) 簡易トイレや水道の整備に向けた調整を進めており、早期に市民の方々にご利用いただけるように進める。条例制定も有効な手段と考えており幅広く検討していく。



大久保北部の里山

黒田 智子

初質問は、地域の大きな関心事である山手小学校のことについて。また、以前から訴えてきた「しんどいママを応援したい」「学校に行きづらい子とその家族を支援したい」「私たちにとって使いやすい制度サービスのあり方を考える」をテーマに質問しました。

●山手小学校の教育環境について

(要旨) 児童数増加による教育環境の整備が必要。教室確保、運動場拡張、トイレの洋式化など整備の進捗と計画はどうなっているのか。

(答弁要旨) 幼稚園や放課後児童クラブを含めた利用教室の再配置や校舎の高層化等検討する。北校舎と東校舎東トイレの洋式化実施設計を今年度中に行う。



●不登校と行きしぶりの児童生徒と保護者支援について

(要旨) 児童生徒と保護者への支援の今後はどうしていくのか。スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなど専門職をさらに充実させては。

(答弁要旨) 児童生徒と保護者が誰かに相談できる環境を整備。専門職の配置は、更なる充実に向け検討。社会資源について、よりわかりやすいリーフレット作成も検討する。



山手小学校

●行政手続きのオンライン化と子育て応援アプリの連動について

(要旨) 子育て中は、市役所に行くのも大変。市のDX化に併せて、「あかし子育て応援アプリ」から行政手続きにアクセスできるよう連動してはどうか。

(答弁要旨) 子育て関係の行政手続きのオンライン化が進めば、アプリの情報発信画面からオンライン申請の画面へのリンクを貼る等、サービス申込につながるようにしたい。

金尾 良信

福祉の現場で長く働いてきましたが、現場だけではどうにもならない問題も山積。すぐに改善したいと思い、「福祉現場の声」を基本にして質問をしました。思い浮かべたのは、福祉科で生き生きと学ぶ生徒さんの表情、福祉サービス拡充を待つ当事者、関係者、福祉現場で踏ん張っている支援者のみなさんの顔です。

●明石商業高校福祉科新設にあたっての福祉出前講座実施について

(要旨) 福祉現場の若手職員が外部講師として出前講座を行うなど、生徒が社会福祉に関心を持ち、職業にしたいと思ってもらえるような取組をしてはどうか。

(答弁要旨) 職員から福祉現場の日常や、やりがいを聞かせてもらう事は有意義。福祉事業者には施設での介護実習、ボランティア活動等、地域ぐるみで協力して欲しい。



●障害者のショートステイ先の拡充について

(要旨) 市内ショートステイ先設置数は9か所程度と少ない。利用できない場合は地域から離れて県外、市外を利用するケースも。改善のための対応策を問う。

(答弁要旨) 木の根学園短期入所施設の有効活用や、利用希望に合わせた男女部屋の柔軟な割り振りなど、指定管理者と対応を協議し、準備ができ次第、受け入れを開始。



明商福祉科工事現場

●福祉従事者の待遇改善について

(要旨) 福祉現場で働く職員が継続的に働けるように待遇改善が必要では。例えば、保育士の待遇改善のようにできないか。対応策について、市の見解を問う。

(答弁要旨) 人材確保・育成に関する国、県の動向を注視しつつ、他事例などの調査研究を進め、現場の声をお伺いする機会を設けることなども考えていきたい。

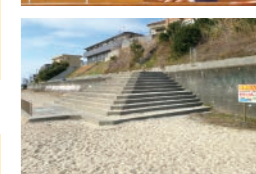
山下 祥

テーマは「海のまち」と「スポーツのまち」。「5つの無料化」など、制度としての「子育てしやすさ」だけでなく、明石らしい「子育て環境」を伸ばすことにも目を向けるべきでは、という視点から質問を行いました。その背景には、明石市の子どもたちは、体力テストが全国・兵庫平均からも低いという問題も。

●「ビーチのユニバーサル化」推進について

(要旨) 車イスやベビーカー、杖が必要な方でも海辺に遊びに行けるよう、海外や他市を参考に、階段をなくすなどユニバーサル化を進めるべきでは。

(答弁要旨) 本市は「明石市ユニバーサルデザインのまちづくり実行計画」も策定中。ビーチのユニバーサル化も進めることで、明石の魅力を伸ばしたい。



ビーチのユニバーサル化

●「大蔵海岸西駐車場」の商業施設誘致について

(要旨) 事業者ニーズ調査だけでなく、市民ニーズ調査もすべきでは。例えばスケートボードパークやワークショップスペース等も活用方法の一つ。

(答弁要旨) 市民ニーズや周辺との調和も踏まえて、広く検討。プロポーザルでも考慮したい。8月から事業者ニーズ調査を行い、最短で来年1月に公募を開始する。

●プロ野球OB選手による「集まれ！野球っ子」開催について

(要旨) スポーツで、まちににぎわいを。コロナ禍で中止になっていたプロ野球OB選手による野球教室は、市民からの復活に向けた期待も高い。準備状況は。

(答弁要旨) 明石軟式野球連盟と開催に向けて調整中。「明石市スポーツ推進プラン」に基づき、「だれもが、どこでも、いつまでも」スポーツに親しめるまちづくりを推進する。



大蔵海岸西駐車場